

令和 3 年度事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)



公益財団法人 九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

令和 3 年度事業報告について

事業報告

定款第 5 条に基づき、令和 3 年度は以下の事業を実施した。(総括)

1. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成事業 (4) 休眠預金等活用事業 (ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業)	③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業
2. 講演会・セミナー事業 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②アジア経済講演会 (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①ビズコリトーク (イブニングセミナー) ②地域経営セミナー ③九州国立博物館応援セミナー	③調査技法セミナー ④経済講演会 ④サイエンス・カフェ ⑤BIZCOLI 倶楽部
3. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 会議室の利用状況	
4. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザインスクールの事務局 (4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局 (5) アジア半導体機構の事務局	
5. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入等	
6. 会務運営 (1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催 (2) 財務経理・人事労務	(3) 会員維持・拡大

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

① 九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は昭和42年（1967年）に刊行されて以来、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。令和3年度は、「アフターコロナの企業戦略～九州地域の新たな挑戦：脱炭素ビジネスとデジタル化～」をテーマに刊行した。コロナ禍からの復活と成長に向けた、新たな成長分野への投資やビジネスの劇的な変革（デジタル化・DX）に向けた取り組み等について4,000社を対象としたアンケートを行い、3年目を迎えたコロナ禍が九州地域の経済や企業に対する影響、とりわけ脱炭素ビジネスとデジタル化の進展に関する実態や特徴をとりまとめ、アフターコロナにおける企業戦略を推進するための課題と必要な対策について明らかにした。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は九州・沖縄・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。上期は、新型コロナウイルスの九州経済への影響をタイムリーに伝えるべく、5月号で家計消費への影響を特集するとともに、8月号で経済見通しの改訂を行った。6月号で2020東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせてスポーツ産業の特集を実施したほか、9月号では近年話題となっているサーキュラーエコノミー（循環型経済）について取り上げた。2月号では自動車電動化による九州地域の自動車産業の影響について検討した。

また、幹事会からの提案による自主研究「社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性～九州地域におけるPFS（成果連動型委託契約）の導入促進に向けて」を10月号、11月号に、「クリエイティブ産業の地方立地の可能性」を12月号に掲載した。

発行日	内 容	
5月号 5月6日 (木) 発行	特 集 (Report)	コロナ禍の家計消費の動向と変化の兆し コロナ禍の家計消費の動向と変化の兆し 新型コロナウイルスが消費に与えた影響 九州の家計支出の動向と変化の兆し 新型コロナ感染以降の消費の特徴点 九州新幹線全線開業と商業・まちづくり (講演録) LINE 流“地方拠点”の在り方 (連載) 価値創造の源流 (54) (株)オファサポート
6月号 6月1日 (火) 発行	特 集 (Report)	スポーツ産業の成長と地域づくりへの貢献 スポーツ産業の成長と地域づくりへの貢献 プロスポーツビジネスの基本構造とコロナ禍での対応 ラグビーワールドカップ2019日本大会におけるキャンプ地・北九州市における

		取り組みと効果 サーフィンによるライフスタイル移住の諸相ー宮崎県幸島周辺のサーファーを事例にー 九州新幹線全線開業と観光・レジャー (One point) コロナ禍で増加するネット消費～総務省「家計消費状況調査」2020 年度集計
7 月号 7 月 1 日 (木) 発行	特 集 (Report)	九州の地域研究 2020 年度九経調地域研究助成事業 地方の貧困に挑むフードバンクの取り組みとその効果 ーSDGs を用いた評価基準生成型の実践ー オンキャンパス型インターンシップによる課題解決プログラムにおける離島地域のシーズ検証 ポスト COVID-19 社会を踏まえた新たな形の域学連携に向けて 九州山間地域におけるジビエの商品化によるローカルフードシステムの構築 九州新幹線全線開業と住民生活・意識、ライフスタイル (講演録) 「米中摩擦」「ポストコロナ」下の台湾 (連載) 価値創造の源流 (55) 大分もやし協業組合
8 月号 8 月 4 日 (水) 発行	特 集 (Report)	オルタナティブデータによる新たな地域の評価 オルタナティブデータによる新たな地域の評価 インポートブランド立地からみた都市の評価 サービス業のマイクロジオデータからみた都市の魅力評価 観光資源の質・多様性データからみた都市・観光地の魅力 2021 年度九州経済見通し (改訂) ー新型コロナ第 4 波により下方修正、ワクチン次第で上振れも (講演録) 九州で実現する Society5.0、DX～これからの社会・産業・行政の形～ (One point) 人口増減の地域格差が拡大～総務省「令和 2 年国勢調査」
9 月号 9 月 2 日 (木) 発行	特 集 (Report)	サーキュラーエコノミー サーキュラーエコノミー 3R からサーキュラーエコノミーへと進化する循環型社会 福岡県リサイクル総合研究事業化センターにおけるサーキュラーエコノミーの取り組み 九州におけるプラスチックリサイクル 太陽光発電の保守とリサイクルによるサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組み 鹿児島県大崎町における住民主導型リサイクルシステムの形成と発展 (講演録) 九州地域における DX 加速政策のヒント～DX の本質とバンカーへの期待 (連載) 価値創造の源流 (56) ㈱グリーンテクノ 21
10 月号 10 月 4 日 (月) 発行	特 集 (Report)	社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性 (上) ー九州地域における PFS の導入促進に向けてー (Report) 社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性 (上) ー九州地域における PFS の導入促進に向けてー わが国における PFS 事業の取り組み状況と先行事例 新たな行政分野における SIB の活用事例 (講演録) 企業と自治体の新しい関係づくり～鍵をにぎるブリッジ人材～ (連載) 価値創造の源流 (57) ㈱ヒューマンハーバー (一社) ヒューマンハーバー そんとく塾
11 月号 11 月 4 日 (木) 発行	特 集 (Report)	社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性 (下) ー九州地域における PFS の導入促進に向けてー (Report) 社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性 (下) ー九州地域における PFS の導入促進に向けてー PFS の普及・拡大に当たっての課題と対応策

		政策に生きる「ナッジ」の知見 (連載) 価値創造の源流 (58) オングリットホールディングス(株) 地域経済データの読み方 その1 景気動向指数
12月号 12月6日 (月) 発行	特 集 (Report) クリエイティブ産業の地方立地の可能性 クリエイティブ産業の地方立地の可能性 クリエイティブ産業の規模と九州地域のポジション 新型コロナ禍における全国・九州地域の企業立地変化 九州におけるクリエイティブ企業創出の取り組み (連載) 価値創造の源流 (59) 大和フロンティア(株)	
1月号 1月6日 (木) 発行	特 集 (Report) 九州の新たな1年 九州の新たな1年 福岡市における今後のMICE開催動向～国内主要学会に対するアンケート調査より 新常態（ニューノーマル）に生きる！コロナ禍にチャンスを見つけた経営者たち (連載) 価値創造の源流 (60) 株葉けん	
2月号 2月3日 (木) 発行	特 集 (Report) 自動車電動化による九州地域の自動車産業の影響と展望 自動車電動化による九州地域の自動車産業の影響と展望 成長軌道に入った世界のxEV（電動車）市場と躊躇う日本企業 九州の自動車産業におけるEVシフトの影響とBCPの取り組み ー九州自動車関連企業アンケート調査よりー 脱炭素化が九州の自動車産業にもたらす新たな価値創造の可能性 2022年度九州経済見通し 旺盛な設備投資とリベンジ消費が経済を牽引し回復基調へ (連載) 地域経済データの読み方 その2 日銀短観	
3月号 3月3日 (木) 発行	特 集 (Report) 都市の人流と経済循環 都市の人流と経済循環 IoTを用いた長崎県における観光客の行動分析とその傾向 中心市街地産業連関表で「まちなか」の産業構造と経済波及を理解する ー特小地域産業連関表作成で明らかとなった宮崎市中心市街地ー (One point) 2022年1月のDATASALAD 宿泊稼働指数ー第6波で暗転、全国的に稼働悪化 (連載) 価値創造の源流 (61) 株Ciamo	
4月号 4月1日 (金) 発行	特 集 (Report) 2022年度の九州経済 2022年度の九州経済 コロナ禍の九州経済の動向と2022年度の展望 図説九州経済・DATASALADの最新情報と活用例（2022年） (One point) 多くの県で人口の社会減傾向が続き、福岡都市圏の一強状態に拍車がかかる ー総務省「令和2年国勢調査」移動人口 (連載) 価値創造の源流 (62) 株Smolt	
5月号 5月6日 (金) 発行	特 集 (Report) 観光DX 観光DX デジタル観光動態統計プラットフォーム おでかけウォッチャーの開発 ー観光人流の見える化へのチャレンジー 新たな人流指標「おでかけ指数」の開発 戦略的観光施策展開のためのデジタル観光統計による糸島市観光客の動向調査 ウィズコロナ時代における九州地域の宿泊施設動向と今後の取り組み可能性 お土産におけるブランディングとSNSの可能性ーネジチョコの事例を中心にー (講演録) 観光動態モニタリングサービスの魅力と活用方法 (連載) 価値創造の源流 (63) 株ライトハウス	

2) 2022 年版 図説九州経済

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで解説する資料として、毎年度 1 回刊行している。2022 年版は、図表の詳細データや統計編に掲載していた各種データを後述の九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」と連動させ、一体的なデータ提供を図った。同時に、コンテンツの見直しや追加などにより誌面を一新した。

『2022 年版 図説九州経済』 10 月 28 日（木）刊行

3) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月 2 回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、当会の刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 125 件 （令和 3 年 4 月 1 日（木）～令和 4 年 3 月 31 日（木））

③幹事会からの提案による自主研究

幹事会において、令和 3 年度は「成果連動型委託契約（PFS）」ならびに「創造的産業の地方立地」の 2 つの研究を行うことが決まった。そこで、九州経済調査月報 10、11 月号で「社会課題解決に向けた新たな官民連携の可能性～九州地域における PFS の導入促進に向けて」、12 月号で「クリエイティブ産業の地方立地の可能性」の特集を組んで研究成果を発表し、当会主催のセミナーにて成果報告を行った。

④地域経済情報のデジタル配信

創立 70 周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」やプラットフォーム構築で培った技術やノウハウ等を活用し、九州経済調査月報、図説九州経済、受託調査などの既存事業と連動させ、地域経済情報のデジタル配信を進めた。

○九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」

上期は利用者の増加に向けた周知活動を行った。データサラダのコンテンツとして開発した宿泊稼働指数や日次有効求人件数は、内閣府の月例経済報告（閣僚会議資料）にも引用された。また、データ九州や図説九州経済に掲載していたデータ・情報を追加し、コンテンツの充実に取り組んだ。さらに、データを外部へ提供する仕組みの構築を進めた。

○熊本県観光連盟 WEB サイトでの観光統計データ・観光 DI のデジタル提供

令和 2 年度より、熊本県観光連盟の WEB サイトを通じて、データの提供を開始した。データサラダと同様に、BI ツールを WEB サイトに組み込み、地区ごとの宿泊者数や入込者数などをビジュアルに捉えることができるシステムを提供している。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行っている。

A. 国内研究会の開催、参加

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級の職員が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。新型コロナウイルス感染防止のために中止となった。

【加盟機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、令和3年度は幹事（役員）ならびに九州・沖縄ブロック幹事として、コロナ禍に対応した事業を進めた。具体的には、交流会、若手研究会をリモートで開催した。交流会では加盟機関の調査研究成果についての報告をもとに、意見交換が行われた。若手研究会は、特別講演会として「これからの時代、地域が生き残るための三つの視座～価値観の変化、仕事の作法、そして企業経営の未来～」と題し、講師に（一財）日本経済研究所鍋山徹専務理事（エコノミスト）をお招きし、講演会については一般からの参加も募った。後半の若手交流会は、加盟機関の若手研究員が、特別講演会講師の鍋山氏と意見交換を行った。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所	(公財)九州経済調査協会
----------------	----------	----------------	--------------

B. 国際会議の開催、参加

日 程	会 議 名	テーマ	講師・参加者	参加者数
11月5日（金） WEB開催	2021年度日韓海峡圏研究機関協議会・研究報告会	SDGs と地域振興	片山部長、藤野研究主査、原口研究主査	20名

C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容として、①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来

投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携と、3つの連携事業を行うこととしている。今期は、データサラダの活用等々で連携を深めた。

(2) 受託研究事業

令和3年度においては、60本のプロジェクトに取り組んだ。半導体や自動車産業等、九州の基幹産業や、DXや脱炭素、SDGs、ウェルビーイングに係る調査など、九州地域において関心の高いテーマに取り組んだ。また、新規分野の獲得を目指し、地域公共交通計画や多文化共生、ワンヘルスなど地域・社会問題に関わる分野の案件獲得に成功した。

【主な受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	令和3年度(2021年度)熊本県観光統計調査業務委託	熊本県
3	「幸せコミュニティ指標」等 作成支援業務	(一社)九州経済連合会
4	中部5県の定量評価・国際地域間比較にかかる基礎調査	(公財)中部圏社会経済研究所
5	祝祭の広場に係る効果検証業務委託	大分市
6	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
7	データ可視化及びカスタムデータ加工	九州大学
8	小売販売額・入込客数調査業務委託	熊本市
9	「北九州貿易統計」作成および特徴抽出・要因分析記述業務	(公財)北九州貿易協会
10	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズブック
(地方創生)		
11	新たな旅行スタイルに対応した少人数型平和教育プログラム開発事業	錦町
12	次世代に平和をつなぐ拠点施設を核とした町の誘客事業運営支援業務	錦町
(地域振興)		
13	多言語対応ローカル SNS アプリの情報発信による観光客の安全安心及び満足度向上に資する官民連携体制構築に向けた実証事業	九州運輸局
14	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州オープンイノベーションセンター
15	地域交通(バス事業)に関する調査	(公財)宮崎県産業振興機構
(産業振興)		
① 産業全般		
16	政策金融評価に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
② 新産業・その他		
17	東北圏の産業分野におけるデジタル技術活用に関する実態調査	(公財)東北活性化研究センター
18	音楽産業の構造変化等に関する調査業務委託	福岡市
③ 観光		
19	別府観光あり方検討会議運営支援等委託業務	別府市
④ 農林水産・食料品		
20	市場活性化アクションプラン(仮称)策定に係る調査業務委託	福岡市
⑤ 環境・資源エネルギー		

21	令和 3 年度新エネルギー等の導入促進のための広報等事業(九州地域における水素関連先進事例調査及び普及啓発事業)	九州経済産業局
⑥ 自動車・半導体		
22	令和 3 年度九州地域における半導体サプライチェーン構築検討調査	九州経済産業局
23	県内半導体関連企業サプライチェーン現状調査及び PR 資料作成業務	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団
24	福岡県半導体拠点協議会（仮）発足記者発表に係る運営業務	福岡県ロボット・システム産業振興会議
(社会資本)		
25	令和 3 年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
26	東九州自動車道整備効果資料作成補助	パシフィックコンサルタンツ(株)
(雇用・人材育成等)		
27	唐津市女性活躍推進業務	Work Step(株)
28	令和 3 年度 介護労働実態調査・集計・分析業務委託	福岡市
29	熊本県における外国人労働者の労働及び生活の実態に関する調査	JICA 九州
(行財政)		
30	福岡県ワンヘルス推進基本条例に係る活動及び事業実態調査業務	福岡県
31	令和 3 年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
32	令和 3 年度福岡市在宅医療・介護連携推進事業支援業務委託	福岡市
33	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
34	第 3 次飯塚市環境基本計画策定支援業務	飯塚市
35	松浦市地域公共交通計画策定調査業務	松浦市
(シンポジウム、事務局支援等)		
36	令和 3 年度九州地域の持続可能な発展に向けたソリューション及びマッチング調査事業	九州経済産業局
37	工学系学生支援プロジェクト事務局業務	メカトラックス(株)
38	北部九州自動車産業新構想検討委員会運営等委託業務	福岡県
39	地域政策デザインスクール支援事業	地域政策デザインスクール実行委員会
(その他)		
40	親なき後の暮らし支援策のあり方に関する調査研究	(一財)地方自治研究機構
41	令和 3 年度福岡市外国籍市民アンケート調査業務委託	福岡市
42	福岡県ジェネリック医薬品使用促進事業におけるレセプト分析業務	福岡県
43	留学生実態調査業務一式	福岡地域留学生交流推進協議会

(3) 九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から実施している。令和 3 年 2 月 10 日（水）～4 月 23 日（金）の応募期間に 27 本の申請があり、5 月 7 日（金）に開催した「九経調地域研究助成委員会」において 3 本の助成先候補を選定、5 月 21 日（金）の理事会にて助成先を決定した。

なお、令和 2 年度の助成対象となった論文 3 本を九州経済調査月報 7 月号に掲載し、7 月のビズコリトークで執筆者による発表を行った。

審査結果

10 万円助成／本

	テーマ	申請者・研究代表者
1	コーポレートガバナンスの視点から女性の役員登用を進める価値とそのステップ	YOHAKU-DESIGN 西田 明紀
2	福岡在住外国人の地域社会包摂に向けたコミュニティ・ハブ理論応用に関する考察	九州大学大学院 修士 2 年 岩淵 丈和
3	防災・BCP 関連産業振興可能性調査	日本経済大学経済学部経済学科 教授 内田 浩幸

九経調地域研究助成委員会 委員

	氏 名	所 属	役 職	備 考
1	安浦 寛人	(公財)福岡アジア都市研究所	理事長	
2	松田 美幸	(公財)九州先端科学技術研究所	特別研究員	
3	柴田 建哉	(株)西日本新聞社	社長	
4	磯崎 隆郎	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	
5	高木 直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	委員長

*委員の所属・役職は委員会開催時

(4) 休眠預金等活用事業（ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業）

令和 2 年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択された。本事業を通じて、持続可能なソーシャルビジネスモデルの確立・発展、ソーシャルビジネスに関わる各種機関のネットワーク化推進、新たなソーシャルビジネスの起業誘発を実現し、九州・沖縄・山口地域がソーシャルビジネスの先進モデル地域となることを目指している。

令和 2 年度に選定した 5 つの実行団体（助成先：(有)トラスト、本城商店(株)、WorkStep(株)、(株)よしもとラフ&ピース、(株)ボードレスジャパン）との契約を完了するとともに、助成金を交付し、伴走支援を進めている。令和 3 年度は、広報に注力し、各実行団体の取り組みを内外に告知すべく、ユヌス氏主催の「Global Social Business Summit 2021」JAPAN フォーラムにて、資金分配団体である九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアム（当会とユヌス・ジャパン）のほか、実行団体 3 団体がプレゼンテーションを行った。さらに、九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センターの講義で、九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムから話題提供するとともに、実行団体 3 団体の事業プランを事例に社会起業に関するディスカッションを行った。また、コミュニティラジオ天神（FM77.7）にて、実行団体 5 団体ならびに資金分配団体（九経調、ユヌス・ジャパン）がそれぞれの事業内容について情報発信を行った。

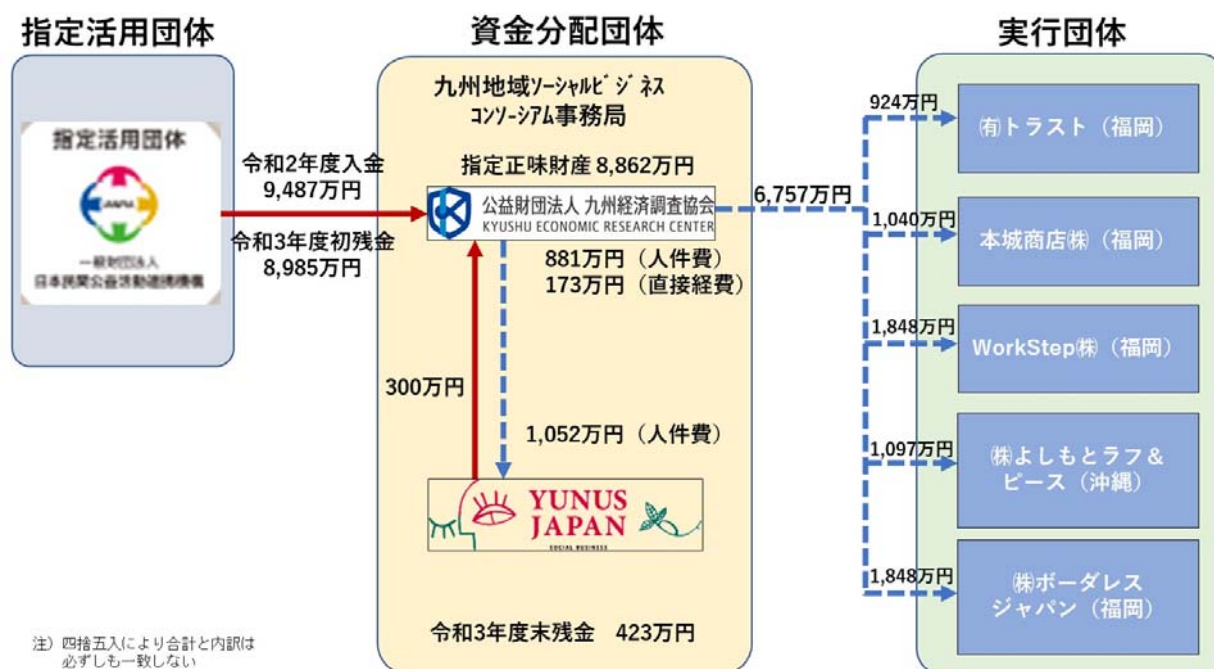
令和 3 年度の各実行団体の特筆すべき活動内容は以下のとおりである。

- (有)トラスト：社会起業家コミュニティとして(一社)リエートスを設立し、社会起業のサポートの展開を開始。
- 本城商店(株)：医療機器リユース・リサイクルに関する情報システムの構築を開始。パラマウントベッド(株)と連携したリユース・リサイクル実証事業の企画を開始。
- WorkStep(株)：福岡女子大学と連携して女性の就業支援活動ウェルカムバックドラフト会議を開催。求人メディア「福岡じょしごと」を開設。

○(株)よしもとラフ&ピース：地方創生をテーマとした「BS よしもと（チャンネル 265）」を開局。ソーシャルビジネスインキュベーション事業「島ぜんぶでうむさんラブ（島ラブ）」の活動を開始。

○(株)ボーダレスジャパン：社会起業家育成塾ボーダレスアカデミー卒業後、ならびにソーシャルビジネスを目指す社会起業家の起業支援・伴奏支援組織としてボーダレスバンクを設置。民間金融機関との提携した取り組みも開始。

休眠預金等活用事業の資金の流れ（令和3年度）



2. 講演会・セミナー事業

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。当会主催による講演会・セミナーは52回開催された。参加者数は2,980人であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（計10回）

2022年版九州経済白書をテーマに、令和4年2～3月に九州・沖縄・山口10都市向けに、WEBによる説明会を開催した。視聴者総数は、688人であった。

地 区	日 程	会 場	共催・後援機関	説明者	視聴者数
福 岡 北九州	2 月 4 日 (金)	WEB 開催	㈱ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 福岡商工会議所 北九州商工会議所 ㈱FFG ビジネスコンサルティング (後援)	藤井次長	236 人
久留米	3 月 11 日 (金)	WEB 開催	㈱筑邦銀行 ㈱ちくぎん地域経済研究所 久留米商工会議所	片山部長	35 人
佐 賀	3 月 3 日 (木)	WEB 開催	㈱佐賀銀行	片山部長	25 人
長 崎 佐世保	2 月 9 日 (水)	WEB 開催	㈱ふくおかフィナンシャルグループ ㈱十八親和銀行 ㈱長崎経済研究所 佐世保商工会議所 ㈱FFG ビジネスコンサルティング (後援)	片山部長	91 人
熊 本	3 月 1 日 (火)	WEB 開催	㈱肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	藤井次長	107 人
大 分	3 月 4 日 (金)	WEB 開催	㈱大分銀行 ㈱大銀経済経営研究所	藤井次長	33 人
宮 崎	2 月 22 日 (火)	WEB 開催	㈱宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	藤井次長	42 人
鹿児島	2 月 17 日 (木)	WEB 開催	㈱鹿児島銀行 ㈱九州経済研究所	片山部長	32 人
沖 縄	3 月 9 日 (水)	WEB 開催	㈱沖縄銀行 ㈱おきぎん経済研究所	藤井次長	45 人
山 口	2 月 18 日 (金)	WEB 開催	㈱山口銀行 (一財)山口経済研究所	藤井次長	42 人

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会 (計 1 回)

当会会員との交流を目的に毎年開催している。令和 3 年度は、㈱日立製作所 矢野和男フェローを講師にお迎えし、「予測不能の時代～データが明かす新たな生き方、企業、そして幸せ」をテーマに会場と WEB のハイブリッドで開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2 月 28 日 (月)	予測不能の時代 データが明かす新たな生き方、企業、そして幸せ	㈱日立製作所 フェロー、㈱ハピネスプラ ネット 代表取締役 CEO 矢野和男氏	会場 29 人 オンライン 136 人

②アジア経済講演会 (計 1 回)

昭和 37 年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和 3 年度はシンガポールをテーマに WEB セミナー形式で開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2 月 17 日 (木)	国際金融とスタートアップ ～シンガポール～	ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究センター 研究員 久末亮一氏 (一社)StartupGoGo 代表パートナー 岸原稔泰氏 GxPartnersLLP アソシエイト 井之上拓也氏	262 人

*ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催。

③調査技法セミナー (計 1 回)

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。
令和 3 年度は、位置情報などオルタナティブデータの活用をテーマに開催した。

日 程	内 容	講 師	参加者数
2 月 3 日 (木)	オルタナティブデータや、位置情報の活用による新しい分析手法	(株)ブログウォッチャー おでかけ研究所 所長 酒井幸輝氏 当会 岡野部長、松嶋次長、小柳研究主査、 南研究員、秋野研究員	42 人

【参加機関】

(株)福岡銀行	(株)九州経済研究所	(一財)山口経済研究所
(株)佐賀銀行	(株)沖縄銀行	(株)北海道二十一世紀総合研究所
(株)長崎経済研究所	(株)おきぎん経済研究所	(公財)九州経済調査協会
(株)大銀経済経営研究所	(株)りゅうぎん総合研究所	
(一財)みやぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫	

④経済講演会 (計 1 回)

「アフターコロナの DX 経営～オペレーションズ・マネジメント」をテーマに講演会をリモートで開催した。なお、講演録を九州経済調査月報 9 月号に掲載した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5 月 28 日 (金)	アフターコロナの DX 経営 ～オペレーションズ・マネジメント～	(株)野村総合研究所 主席研究員 藤野直明氏	192 人

*共催：(株)ふくおかフィナンシャルグループ 後援：(株)FFG ビジネスコンサルティング

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、令和 3 年度は合計 38 回を実施した。新型コロナウイルス感染拡大を受けて、全セミナーを WEB 形式で開催した。

①ビズコリトーク (イブニングセミナー) (計 15 回)

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。新型コロナウイルス感染防止のため、WEB 配信のみの開催となった。地方都市での創業・仕事づくり、コロナ禍の家計消費

の動向と変化の兆し、スポーツ産業の成長と地域づくりへの貢献、オルタナティブデータによる新たな地域の評価等の研究成果を報告した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 13 日 (火)	地方都市での創業・仕事づくり	(一社)まちはチームだ 創生事務局長 中川康文氏、NPO 法人離島経済新聞社 鯨本あつこ氏、当会 小柳研究主査、松嶋次長	33 人
5 月 18 日 (火)	コロナ禍の家計消費の動向と変化の兆し	跡見学園女子大学 教授 山澤成康氏 当会 松嶋次長	31 人
6 月 15 日 (火)	スポーツ産業の成長と地域づくりへの貢献	九州産業大学 准教授 福田拓哉氏 北九州市立大学 教授 南博氏 北九州市立大学 特任教員 岩本晃典氏	34 人
7 月 20 日 (火)	2020 年度九経調地域研究助成事業 研究レポート発表	九州保健福祉大学 講師 日田剛氏 長崎県立大学 准教授 川崎修良氏 立正大学 特任准教授 深瀬浩三氏	25 人
8 月 10 日 (火)	2021 年度九州経済見通し改訂 ～新型コロナ第4波により下方修正、ワク チン次第で上振れも	当会、松嶋次長、小柳研究主査、南研究員、 秋野研究員	24 人
8 月 17 日 (火)	オルタナティブデータによる新たな地域の 評価	熊本大学 大学院人文社会科学研究部 教授 渡部薫氏、当会 松嶋次長	39 人
9 月 14 日 (火)	サーキュラーエコノミー	大崎町 SDGs 推進協議会 専務理事 齊藤 智彦氏、当会 松嶋次長、秋野研究員	27 人
10 月 12 日 (火)	社会問題解決に向けた新たな官民連携の可 能性(上)～九州地域における PFS の導入 促進に向けて～	当会、片山部長、平松研究員、田代研究員	51 人
11 月 9 日 (火)	社会問題解決に向けた新たな官民連携の可 能性(下)～九州地域における PFS の導入 促進に向けて～	当会、片山部長、原口研究主査、平松研究員、 田代研究員	30 人
11 月 25 日 (木)	発見！九州経済ポテンシャル 2022～図説 九州経済 2022×DATASALAD の活用法～	当会、松嶋次長、小柳研究主査	65 人
12 月 14 日 (火)	クリエイティブ産業の地方立地の可能性	当会、松嶋次長、小柳研究主査	27 人
1 月 11 日 (火)	九州の新たな1年	事業構想大学院大学 客員教授 若林宗男氏、 当会、松嶋次長、田代研究員	29 人
1 月 18 日 (火)	2022 年度九州経済見通し	当会、松嶋次長、小柳研究主査、相川研究員	51 人
2 月 8 日 (火)	自動車電動化による九州地域の自動車産業 の影響と展望	名城大学 経営学部 教授 田中武憲氏 当会、平田次長、松嶋次長	51 人
3 月 8 日 (火)	都市の人流と経済循環	長崎大学 情報データ科学部 准教授 一藤 裕氏、宮崎大学 地域資源創生学部 地域 資源創成学研究科 教授 杉山智行氏、 当会 松嶋次長	44 人

②地域経営セミナー（計 13 回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催している。新型コロナウィルスの感染拡大の影響により、WEB 形式で実施した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 27 日 (火)	九州で実現する Society 5.0、DX ～これからの社会・産業・行政の形～	長崎県 政策監 三上建治氏	66 人
7 月 9 日 (金)	企業と自治体の新しい関係づくり ～鍵をにぎるブリッジ人材～	地域おこし協力隊 制度設計 専門家 西 塔大海氏	34 人
7 月 21 日 (水)	第 7 回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミ ナー「ポストコロナ時代の新たな価値へのア プローチ～九産大メソッドでコロナが生んだ 課題に迫る～」	九州産業大学 教授 真島猛氏、 教授 窪田由紀氏、講師 行平真也氏	24 人
8 月 5 日 (木)	AI ドライブレコーダーの未来～斬新奇抜、視 点を変えたドラレコ活用法！～	(一社)ドライブレコーダー協議会 理事 浮穴浩二氏、Streamax・Japan 岡田桃依氏	18 人
9 月 9 日 (木)	町工場のオジサンたちが叶えた宇宙産業への 参入～その挑戦が地域にもたらしたものとは？～	円陣スペースエンジニアリングチーム 理事長 當房陸仁氏	35 人
9 月 29 日 (水)	『こころの筋トレ』アンガーマネジメント～ ニューノーマル時代の怒りコントロール術～	マルプロ 代表 丸山啓太氏	52 人
11 月 17 日 (水)	続『こころの筋トレ』アンガーマネジメント ～実践編 上手な叱り方	マルプロ 代表 丸山啓太氏	24 人
12 月 20 日 (月)	(一財)機械振興協会経済研究所共催セミナー 「自動車の電動化と地域自動車産業 テスラが牽引する電動化市場の急成長は域外 依存型産業集積にどのような機会をもたらす のか～北部九州と東北地方の比較分析」	関西大学 商学部 准教授 佐伯靖雄氏	104 人
2 月 2 日 (水)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック 「これからの時代 地域が生き残るための三 つの視座－価値観の変化、仕事の作法、そし て企業経営の未来－」	(一財)日本経済研究所 専務理事 鍋山徹氏	123 人
2 月 9 日 (水)	第 8 回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミ ナー「九州の鉄道会社と都心再開発－西鉄と JR 九州を事例として－」	九州産業大学 経済学部長・経済学部経済 学科 教授 加藤要一氏、 経済学部経済学科 教授 芳賀博文氏	81 人
2 月 16 日 (水)	九州におけるクリエイティブ企業創出の取り 組み Vol.1「分散型ワークプレイスのシェアリ ング事業による新しいビジネスインフラの構 築を～働くをオフィスから解放し、九州独自 の働き方の創出～」	九州アイランドワーク(株) 代表 馬渡侑佑氏	21 人
3 月 11 日 (金)	デバイス実装研究会 基調講演：「超精密 CMP 技術の基本とその応 用～ボンディングに関わる Cu-CMP への道 ～」 報告：「チップレット集積技術」、「半導体に向 けたレーザー転写技術応用検討」、「3 次元パ ッケージング工程におけるウェハボンディン グプロセス用 CMP スラリに求められる特 性」、「研磨と接合による高集積 3D 半導体技 術の開発動向」	九州大学 名誉教授 土肥俊郎氏、 東京工業大学 特任教授 栗田洋一郎氏、 東レエンジニアリング(株) 開発部長 荒井義 之氏、 昭和電工マテリアルズ(株) 専任研究員 市毛 康裕氏、 横浜国立大学 准教授 井上史大氏	会場 32 人 オンライン 89 人
3 月 15 日 (火)	第 3 回経営に活かすデータ分析セミナー「第 4 の経営資源『データ』を正しく蓄積・活用す るための第一歩」	NOB DATA(株) 代表取締役社長 大城信晃氏	40 人

③九州国立博物館応援セミナー（計４回）

九州国立博物館の特別展にあわせて、WEBセミナー形式で開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月14日 (金)	よみがえる 正倉院宝物－再現模造にみる天平の技－	九州国立博物館 企画課 特別展室長 川畑憲子氏	39人
7月27日 (火)	皇室の名宝－皇室と九州をむすぶ美	九州国立博物館 文化財課 課長 原田あゆみ氏	32人
10月19日 (火)	海幸山幸－祈りと恵みの風景－	九州国立博物館 文化財課 資料登録室長 森實久美子氏	26人
2月22日 (火)	最澄と西国天台のあゆみ	九州国立博物館 学芸部企画課 特別展室 研究員 大澤信氏	41人

④サイエンス・カフェ（計６回）

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催する科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供している。令和３年度は Zoom のミーティング機能を使い、講師からも参加者が見える形で開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月28日 (金)	雰囲気謎に迫る！	九州大学 人間環境学研究院 准教授 木下寛子氏	28人
8月6日 (金)	PM2.5の謎に迫る！	九州大学応用力学研究所 気候変動科学分野 教授 竹村俊彦氏	48人
11月5日 (金)	新たなウイルスの謎に迫る！	九州大学農学研究院 資源生物科学部 門 衛生昆虫学分野 准教授 藤田龍介氏	35人
1月14日 (金)	太陽光発電の謎に迫る！	九州大学 カーボンニュートラル・エネ ルギー国際研究所 准教授 松島敏則氏	24人
3月4日 (金)	「空飛ぶクルマ」と未来社会！	九州大学大学院法学研究院 教授 小島立氏	30人
3月25日 (金)	骨の形の謎に迫る！	九州大学大学院医学研究院 生体制御学講座 系統解剖学分野 教授 三浦岳氏	24人

⑤BIZCOLI 倶楽部 （中止）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成 27 年度に開始した。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
1月14日 (金)	松永安左エ門と福岡の近現代史	(資)アソシエ・近代史家 益田 啓一郎 様	—

3. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。リモートワークの増加によるオンラインミーティング目的の利用に対応するため、8月末よりリモートミーティングボックス 2 室を設置し、運用を開始している。

また、ミーティングルーム、マイデスク、リモートミーティングボックスをスマートフォンから予約できるシステムを構築し、会員の皆様の利便性向上と業務効率化を図った。

（1）地域経済図書館としてのサービス

1）緊急事態宣言下への対応

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、福岡県では 5 月 12 日（水）～6 月 19 日（土）、8 月 20 日（金）～9 月 30 日（木）の期間において、緊急事態宣言が発令された。BIZCOLI では来館時の消毒・検温・健康管理カードへの記入を来館者をお願いするほか、ビジター利用、ゲスト利用、会議室使用を制限するなどの対策を講じた。一方で、リモートワークの増加によるオンラインミーティング目的の利用に対応するため、8 月末よりリモートミーティングボックス 2 室を設置し、運用を開始した。

また、ミーティングルーム、マイデスク、リモートミーティングボックスをスマートフォンから予約できるシステムを構築し、会員の皆様の利便性向上と業務効率化を図った。

2）BIZCOLI の利用状況

令和 3 年度の利用者は 13,599 人と、対前年同期比 13%増となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため席数を通常の半分で運営を続けているが、徐々に来館者数は戻りつつある。また、テレワークの場所としても利用され、長時間の利用が増えた。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成 24 年度	8,044 人	平成 29 年度	16,743 人
平成 25 年度	12,238 人	平成 30 年度	18,461 人
平成 26 年度	13,479 人	令和元年度	20,544 人
平成 27 年度	15,486 人	令和 2 年度	12,052 人
平成 28 年度	16,984 人	令和 3 年度	13,599 人

3) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。上期は、32 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
(株)コマンドディー	ドローン実機、ドローン映像、資料など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)スターフライヤー	資料、航空機模型の提供
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	日本経済の「今」がわかる 関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
(株)QPS 研究所	同社の高精細小型レーダー衛星「QPS-SAR」の部品展示
国連世界食糧計画	レッドカップキャンペーンの資料、グッズの提供
絶景九州	写真の展示 (パネル、タブレット)
日本通運(株)	ホワイト物流関連資料など
(株)ナカバヤシ	脱プラ・廃プラシリーズ「asue」商品、資料の提供
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	商品、マーケティング関連書籍の展示

(2) 会議室の利用状況

令和 3 年度の BIZCOLI 会議室の収益額は対前年同期比 97%増の 112 万円となった。会議室の利用を 1 時間から可能としたため、利用件数ではコロナ感染拡大以前の水準に戻っている。マイデスクゾーンは 2,790 時間の利用があり、収益額は対前年同期比 66%増の 27 万 9 千円となった。電話

や WEB 会議など、周囲を気にせずに利用できるひとり用の個室空間として、リモートミーティングボックスを提供しており、令和 3 年度は延べ 3,460 時間の利用があり、8 万 7 千円となった。

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

正会員数 456名（令和4年3月末現在）
令和3年度決算 60,120,817千円

令和3年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	・ 通常総会、常任幹事会、幹事会の開催 ・ 例会の開催 ・ 各委員会において講演会等を開催 ・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催 ・ 春秋会（ゴルフコンペ） ・ カップリングパーティー（婚活支援）
九州経済同友会	・ 九州経済同友会大会（大分） ・ 代表幹事会 ・ 企画委員会 ・ 九州はひとつ委員会 ・ 九州地域戦略会議、同幹事会、同会議で実施が決定した個別プロジェクト会議への参加 ・ 九州経済を考える懇談会

*その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 129 回（うち共催・後援 4 回）

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するものである。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、（公財）九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。

No.	日時・場所	テーマ	参加者
第 1 回	7 月 7 日（水） （一社）九州経済連合会	1) これまでの懇談会の経緯について 2) 九州地域戦略会議および JEWELS+について 3) 卓話「デジタル人材育成プラットフォーム及び地域包括 DX 推進拠点について」	（一社）九州経済連合会 会長 倉富純男氏（座長） *九州経営者協会 会長を兼任 九州商工会議所連合会 会長 谷川浩道氏 九州経済同友会 代表委員 青柳俊彦氏 （一財）九州オープンイノベーションセンター 会長 瓜生道明氏
第 2 回	2 月 9 日（水） （一社）九州経済連合会	1) 観光（再活性化と基幹産業化） 2) DX 深掘り（DX による地方創生） 3) その他（九州デジタル経営塾開催報告）	（公財）九州経済調査協会 理事長 高木直人（コーディネーター）

（３）地域政策デザインスクールの事務局

「地域政策デザインスクール」（理事長：福田 晋 九州大学 理事・副学長）は、社会人と九州大学大学院生を対象に、自律的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会の課題解決に貢献する教育・研究を目的に、平成 22 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、(株)西日本新聞社、福岡地域戦略推進協議会、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和 3 年度は、55 名（受講生 31 名、聴講生 19 名、他 5 名）が受講している。受講生は、古賀市、うきは市、宮若市、嘉麻市、大分県別府市の 5 自治体と連携して政策提言づくりに取り組んだ。7 月に開講し、2 月に政策研究発表会を開催した。

地域政策デザインスクール 講師一覧

氏 名	所 属
永田 晃也	九州大学 教授、科学技術イノベーション政策教育研究センター センター長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長／九州大学 客員准教授
平山 雄太	世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター スペシャリスト
馬田 隆明	東京大学 Foundx ディレクター
齋藤 潤一	（一財）こゆ地域づくり推進機構 代表理事
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
水野 祐	シティライツ法律事務所 弁護士
麻生 泰	（一社）九州経済連合会 理事・名誉会長

（４）九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局

令和 2 年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、その推進母体となるコンソーシアム事務局を幹事団体である当会で運営した。令和 2 年度に選定した 5 つの実行団体（助成団体）との契約を完了するとともに、助成金を交付し、伴走支援を実施した。

（５）アジア半導体機構の事務局

新型コロナウイルスの影響で中止していた「デバイス実証研究会」をリアルとリモートのハイブリッドで開催した。テーマは、最近注目されている Cu to Cu 接合やチップレットなど、最新の実装技術に関する研究開発ならびにビジネス動向に着目した。

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】 経済産業省、九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、九州大学、福岡県、長崎県、北九州市、那珂川市、糸島市、北九州市港湾空港局 【団体】 (公財) 飯塚研究開発機構、(公財) 経営者顕彰財団、(公財) 日本生産性本部、(公財) 福岡アジア都市研究所、(公財) 福岡県国際交流センター、(一財) 機械振興協会、(一財) 九州オープンイノベーションセンター、(一社) 九州観光推進機構、(一社) 九州経済連合会、福岡経済同友会、専門図書館協議会 【民間・大学】 (株)福岡放送、福岡大学	就任件数 計 31 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 1 大学 1 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	RKB「サンデーウォッチ」、KBC ラジオ「アサデス。ラジオ」、北日本テレビ、チューリップテレビ、TNC「ももち浜 S 特報ライブ」、NHK 福岡「ロクいち! 福岡」、FBS「めんたいワイド」	延 17 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、日経 MJ、西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、大分合同新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス、山口新聞、四国新聞、愛媛新聞、中国新聞、神戸新聞、静岡新聞、神奈川新聞、富山新聞、北日本新聞、下野新聞、秋田魁新報、河北新報、東奥日報、北海道新聞、日刊産業新聞、日刊建設工業新聞、日刊電波新聞、日本海事新聞、旬刊旅行新聞、長崎建設新聞、鹿児島建設新聞、ふくおか経済、建設通信新聞、労働新聞、PR TIMES、ビジネス・レーバー・トレンド、フクリバ、セールスフォース、ニッキン、福岡県 NPO・ボランティアセンター、(株)ちくぎん地域経済研究所、(株)長崎経済研究所、(株)大銀経済経営研究所、(一財) 日本経済研究所、(株)NCB リサーチ&コンサルティング、財界九州、(株)FFG ビジネスコンサルティング、(特非) ヒューマンインターフェース学会、(一財) 日本地域開発センター、北九州港振興協会	延 331 件
(5) インターネットの受入等	* 中村学園大学からの受入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった	

6. 会務運営

(1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催

令和 3 年度は理事会を 6 回、評議員会を 4 回開催した。開催にあたっては WEB 会議システムを併用し、県外の役員等の移動を最小限にとどめるなど感染予防に努めた。また、参与会については新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 21 日 (金)	第 42 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 2 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 参与の委嘱について 第 5 号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第 6 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他
6 月 11 日 (金)	第 43 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 代表理事・会長の選定について 第 2 号議案 代表理事・理事長の選定について 第 3 号議案 業務執行理事の選定について 第 4 号議案 役員報酬について 第 5 号議案 幹事の選任について 第 6 号議案 評議員会（書面表決）の招集について
8 月 6 日 (金)	第 44 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 幹事の選任について 第 2 号議案 参与の委嘱について
10 月 18 日 (月)	第 45 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 3 年度更正予算（案）について 第 2 号議案 参与の委嘱について 第 3 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 令和 3 年度上期事業報告について 第 2 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 3 項 幹事会の開催について 第 4 項 企画委員会の開催について 第 5 項 その他
2 月 10 日 (木)	第 46 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 新事業の開始について
3 月 2 日 (水)	第 47 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 4 年度事業計画（案）について 第 2 号議案 令和 4 年度予算（案）について 第 3 号議案 内閣府への定期提出書類について 第 4 号議案 幹事の選任について 第 5 号議案 顧問、参与の委嘱について 第 6 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議 案 等
6 月 11 日 (金)	第 28 回評議員会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 2 年度決算（案）について 第 3 号議案 評議員の選任について 第 4 号議案 理事の選任について 第 5 号議案 監事の選任について 【報告事項】 第 1 項 幹事の選任について 第 2 項 参与の委嘱について 第 3 項 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第 4 項 その他
6 月 30 日 (水)	第 29 回評議員会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 評議員の選任について 第 2 号議案 評議員会議長の選任について 【報告事項】 第 1 項 会長、理事長、業務執行理事（常務理事）の選定について 第 2 項 幹事の選任について
11 月 15 日 (月)	第 30 回評議員会	【報告事項】 第 1 項 令和 3 年度上期事業報告について 第 2 項 令和 3 年度更正予算について 第 3 項 参与の委嘱について 第 4 項 幹事会の開催について 第 5 項 企画委員会の開催について 第 6 項 その他
3 月 10 日 (木)	第 31 回評議員会	【決議事項】 第 1 号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第 1 項 令和 4 年度事業計画について 第 2 項 令和 4 年度予算について 第 3 項 幹事の選任について 第 4 項 顧問、参与の委嘱について 第 5 項 新事業「おでかけウォッチャー」について

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議 案 等
3 月 31 日 (木)	第 15 回幹事会 (オンライン)	新幹事の紹介 議案 1 令和 3 年度幹事会からの提案による自主研究の報告 議案 2 令和 4 年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議 案 等
12 月 14 日 (火)	企画委員会	1 令和 3 年度自主研究の報告 2 令和 4 年度自主研究テーマ（案）について 3 その他

⑤参与会の開催状況 （中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（２）財務経理・人事労務

新公益法人制度の下、主務官庁の内閣府に対して、６月に令和２年度事業報告・財務諸表等を提出した。同様に、７月と８月には理事・評議員交代に伴う変更届を、３月には令和４年度事業計画と予算を提出した。人事労務については、新たな調査研究ニーズや会員維持拡大業務に対応できる人材の採用活動を進め、新入社員等を対象に職員が講師を務める研修会を７回開催した。また、新型コロナウイルス感染予防に向けて、職員と BIZCOLI 会員を対象に 7～8 月にかけてワクチンの集団接種を実施した。

また、若者雇用や女性活躍促進に取り組む優良事業所を認定する「ユースエール認定」と「えるぼし認定」を、厚生労働省福岡労働局より受けた。

取得した認定	認定取得日	認定制度の内容	福岡県内の認定取得企業数
ユースエール認定	10 月 8 日 (金)	若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度	15 社
えるぼし認定	3 月 10 日 (木)	女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度	33 社

（３）会員維持・拡大

①賛助会員

BIZCOLI や DATASALAD、研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。令和３年度の入会は 35 件、退会は 32 件であった。維持会員での入会が多く、口数では 50 口増となった。賛助会員数は期首 569 会員から 3 会員純増して 572 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,669 万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
		維持会員	普通会员	個人会員	町村会員
令和３年度期首	569	73	477	17	2
入 会	35	6	25	3	1
退 会	32	1	29	2	0
増 減	3	5	-4	1	1
会員種別変更	0	1	-1	0	0
令和３年度末	572	79	472	18	3

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員
- ・平成 29 年度末 会員数 583 会員
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員
- ・令和元年度末 会員数 589 会員
- ・令和２年度末 会員数 569 会員
- ・令和３年度末 会員数 572 会員
- ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,649 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,791 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,796 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,492 万円
- ・会費実勢額 1 億 2,669 万円

②BIZCOLI 会員

令和 3 年度は、期首 93 会員から 22 会員純減して 71 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、令和 3 年度末で 529 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（71 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	1	フルタイム+土曜日	3
デイトタイム	8	デイトタイム+土曜日	5
ナイトタイム	28	ナイトタイム+土曜日	12
土曜日	14	合 計	71

(参 考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 45 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。令和 3 年度もコロナ禍の中ではあったものの、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、前年度（30 件）を上回る計 45 件の会合に講師を派遣している。

講師派遣一覧

日 程	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
4 月 9 日 (金)	福岡県経営者協会	「一月会」2021 年版九州経済白書「コロナショックと九州経済」	藤井次長	25 人
4 月 13 日 (火)	三菱電機(株)九州支社	九州支社経営方針説明会「九州経済の短・中期見通し」	渡辺研究員	60 人
4 月 15 日 (木)	早稲田大学	早稲田大学マンスリーコロキウム次世代ロジスティック研究会「九州における半導体ビジネスの現状と課題」	岡野部長	50 人
4 月 16 日 (金)	長崎県立大学	地域創造概論「コロナショックと九州経済」	藤井次長	220 人
4 月 19 日 (月)	産業技術総合研究所九州センター	第 101 回ミニマル 3DIC ファブ開発研究会「ミニマルファブ等の事業化に向けた市場ニーズについて」	岡野部長	45 人
4 月 22 日 (木)	(一社)九州経済連合会	九州地域戦略会議 新技術挑戦 PT 第 2 回九州ビッグデータ活用研究会～九州一体となった地域経済ビッグデータの連携と活用～九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」の挑戦	岡野部長	34 人
4 月 26 日 (月)	天神サロン	第 195 回例会「コロナショックと九州経済」	高木理事長	60 人
6 月 3 日 (木)	福岡県新産業振興課	福岡県デジタルプロジェクト推進会議 地域課題解決に向けたデジタル技術の活用	岡野部長	23 人
6 月 29 日 (火)	九州旅客鉄道(株)	経営企画部勉強会「事業環境に係る社会経済統計について」	片山部長	50 人
6 月 30 日 (水)	(一社)ユノス・ジャパン	Global Social Business Summit 2021 Japan Forum「休眠預金等活用事業について」	岡野部長	25 人
7 月 5 日 (月)	北九州市立大学	環境都市論 特別講義 再生可能エネルギー	松嶋次長	100 人
7 月 6 日 (火)	長崎経済同友会	7 月例会「九州新幹線全線開業 10 年の効果と影響」	岡野部長	103 人
7 月 9 日 (金)	(一財)日本電機工業会九州支部	コロナショックと九州経済	藤井次長	10 人
7 月 20 日 (火)	(株)JTB 福岡支店	福岡県観光振興体制強化事業 観光分析コース講座	片山部長	20 人
7 月 25 日 (日)	九州大学ユノス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター	「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」について	岡野部長	13 人
8 月 5 日 (木)	中村学園大学短期大学部	キャリア開発学科プロジェクト研究会「検定試験のネット化と DX(コロナショックと九州経済～成長の鍵を握る DX～)」	藤井次長	15 人
8 月 9 日 (月)	(公財)日本青年会議所九州地区大分ブロック協議会	豊予海峡シンポジウム「豊予海峡ルート構想の周知と民意の醸成」(コーディネーター)	岡野部長	251 人
8 月 19 日 (木)	(株)福岡リアルティ 福岡地所(株)	福岡・九州のオフィス及び物流マーケットとコロナ後の商業・ホテルの見通し	片山部長	70 人
9 月 8 日 (水)	地方シンクタンク協議会	全国機関交流ミニセミナー 九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」の取組について	岡野部長	23 人
9 月 14 日 (火)	(一社)九州経済連合会	広域経済循環 WG「九州経済・産業のファンダメンタルズについて」	片山部長	10 人

10月1日 (金)	福岡県商工部自動車産業振興室	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議「電動化」を契機とする自動車産業への参入、ビジネス展開の可能性	平田次長	20人
10月8日 (金)	三井商船フェリー(株)	九州経済の見通しと運輸業界における労働力不足への対応	片山部長	50人
10月19日 (火)	(一社)日本民間公益活動連携機構	2021年度プログラム・オフィサー(PO)育成研修(公募前研修) 公募事例の報告ならびにプレイクアートルームでの質問受け付け	岡野部長	36人
10月27日 (水)	(株)プログウォッチャー	位置情報・ビッグデータカンファレンス2021 観光動態モニタリングサービスの魅力と活用方法	小柳研究主査	1200人
10月28日 (木)	西日本電信電話(株)	NTT GROUP COLLECTION 2021 ONLINE「FUTURE Invitation～ICTで、新たなとびらを～」/司会	原口研究主査	121人
11月2日 (火)	(株)西日本新聞社	「長崎が近づく、九州2本目の新幹線がやってくる～2022年秋西九州新幹線開業～(仮)」九州新幹線全線開業から10周年の効果	岡野部長	294人
11月7日 (日)	九州大学ビジネススクール 短期エグゼクティブ・プログラム事務局	九州大学ビジネススクール社会連携事業 短期エグゼクティブ・プログラム コロナ禍後のアジア・日本市場の回復と九州の貢献～30年後に向けた九州地域発展戦略	片山部長	50人
11月16日 (火)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会 九州経済・産業の動向～図説九州経済2022から	小柳研究主査	45人
11月26日 (金)	(株)IBM	九州フォーラム 「コロナショックと九州経済～コロナ前後で何が変わり、今後どうすべきか～」	高木理事長	20人
11月29日 (月)	大坪 GSI(株)	勉強会 九州の基幹産業からみるカーボンニュートラルの方向性～自動車産業～	平田次長	10人
12月2日 (木)	兵庫県	兵庫県統計活用セミナー	松嶋次長	136人
12月6日 (月)	(一社)嘉飯桂産業振興協議会	(一社)嘉飯桂産業振興協議会 特別協議会 「コロナショックがもたらすDX・分散型社会と福岡経済」	小柳研究主査	50人
12月7日 (火)	(一社)日本建設業連合会	社会資本整備の重要性に関するシンポジウム 九州の発展と交流インフラ	岡野部長	190人
12月13日 (月)	(一社)九州経済連合会	「新幹線を活かす地域づくり～オール九州からの視点と戦略(仮)」	岡野部長	155人
12月27日 (月)	(一社)九州経済連合会	「2022年九州経済の見通し」説明会 in 九経連 2022年九州経済の見通しについて	相川研究員	28人
1月14日 (金)	(一社)熊本県工業連合会	くまもとクロスイノベーション協議会 トップセミナーⅣ 自動車×半導体 電気自動車にみる九州・熊本のポテンシャル	平田次長	150人
1月19日 (水)	九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター	第8回ソーシャル・ビジネス・ネットワーキングラボ 九州企業のSDGsへの対応～SDGsを経営に取り込む企業を事例に(仮)	原口研究主査	25人
1月20日 (木)	鹿島建設(株) (株)西日本シティ銀行	PPP/SIB 勉強会	田代研究員	9人
1月24日 (月)	北九州港湾振興協会	港湾セミナー 2022年度九州経済の見通し	片山部長	40人
1月27日 (木)	福岡地所(株)G (株)福岡リアルティ	今後の不動産マーケットと九州/福岡の経済活動について	片山部長	70人
2月16日 (水)	(一社)九州経済連合会	九経連 九州女性の会 2月例会 「九州経済の概況と今後の見通しについて」	小柳研究主査	16人
2月18日 (金)	神奈川県資料室研究会	神奈川県資料室研究会2月例会 「ライブラリーのウィズコロナ対応について～ライブラリーの役割再考～(仮)」	平田次長	40人
2月21日 (月)	東京大学先端科学技術研究センター	「超えるIDEA」セミナー:社会起業家と行政や企業、大学が連携し、課題解決とこれからの社会価値を共同創造する 対談セッション第7弾 「企業主導で社会が変わる!韓国における社会システム転換ビジネス」	原口研究主査	33人

3月10日 (木)	(株)日経 BP	デジタルイノベーション 2022 : 行政自治体向けデジタル観光統計サービス「おでかけウォッチャー」の開始について	岡野部長	254 人
3月23日 (水)	九州電力(株)東京支社	2022 年版九州経済白書 アフターコロナの企業戦略	藤井次長	25 人

2. セミナー等への参加・企画協力（計 13 件）

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLI の会議室提供などで協力している。

協力実績一覧

日程・場所	主 催 者	会 合 名	備 考
5月29日(土) オンライン開催	(株)アグリ ガーデンスクール&アカデミー	医農科学のための実践講座「雑草と菌ちゃんで育てる！味のある野菜づくり」	後援
6月28日(月) オンライン開催	(公財)福岡アジア都市研究所	福岡アジア都市研究所(URC) 都市セミナー「ニューノーマル時代の都市」	後援
7月12日(月) オンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第148回ベンチャープラザ二月会「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
7月17日(土) オンライン開催	福岡大学ベンチャー起業論／アライアンス・フォーラム財団(株)植松電機／(一社)公益資本主義推進協議会／(特非) ASIA	第2回 公益資本主義公開フォーラム～日本中を巻き込んだ大改革が始まる	後援
9月7日(火) オンライン開催	九州大学、九州大学社会連携推進室	九州大学×科学コミュニケーション「伝える喜び、伝わる喜び」～双方向コミュニケーションの場を造る～	後援
9月9日(木) 西鉄グランドホテル及び オンライン開催	My-IoT コンソーシアム	My-IoT シンポジウム 2021「現場で生まれる、現場のための、IoTシステムを！」	後援
11月7日(日) オンライン開催	九州大学 ユヌス&椎木 ソーシャル・ビジネス 研究センター、(一社)ユヌス・ジャパン	ソーシャルビジネスコンテスト YYC2021 グランドチャンピオン大会	後援
11月8日(月) 福岡 SRP センタービル及 びオンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第149回ベンチャープラザ二月会「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
11月24日(水) オンライン開催	(公財)福岡アジア都市研究所	福岡アジア都市研究所(URC) 都市セミナー 令和3年度 第2回「e スポーツが切り拓く未来～福岡と e スポーツの新展開～」	後援
12月17日(金) 電気ビル共創館カンファ レンス及びオンライン開催	福岡経済同友会、福岡県	第9回社会貢献セミナーのご案内	後援
3月11日(金) オンライン開催	(公財)福岡アジア都市研究所	福岡アジア都市研究所(URC) 都市セミナー 令和3年度 第3回「アジアの景観形成と都市の再生」	後援
3月14日(月) 福岡 SRP センタービル 及びオンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第150回ベンチャープラザ二月会「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
3月14日(月) オンライン開催	(一社)大牟田未来共創センター (ポニポニ)、(株)地域創生 Co デザイン研究所、(一社)未来社会共創センター、東京大学 高齢社会総合研究機構	「第4回全国リビングラボネットワーク会議：社会変革を実現するリビングラボ」	後援